

高度情報社会における雷害リスク低減シンポジウム

～ 電気通信システムにおける雷害リスク低減方策の具体的検討とその啓蒙普及 ～

開催日時 2004年1月28日(水) 13:10～17:00 (受付開始:12:40～)
 会場 六本木ヒルズ タワーホール(東京都港区六本木6-10-1)
 主催 雷害リスク低減コンソーシアム
 協賛 財団法人 電気通信普及財団

<参加のお勧め>

高度情報社会の構築に向けて、政府、関係省庁および通信事業者等は、通信方式を含むシステム検討やインフラ整備を行い、通信方式や通信装置がめざましい発展を遂げています。一方で通信方式の変化が早いため、将来の通信技術に関する動向の予測が困難になっています。さらに、通信が、一昔前の音声やファックスだけのものから、高速な各種データ伝送が行えるようになり、官公庁、企業ばかりでなく個人までが重要なデータを取り扱っているため、雷害により通信不能などの不測の事態に陥った場合には、大きな損害を受けるリスクが増大しています。

本シンポジウムでは、通信の将来像、雷害リスクに対する基盤技術とIT社会を取り巻くリスクに対する管理の重要性に関してわかりやすく解説します。

開会 13:10～13:20

雷害リスク低減コンソーシアム幹事長 池辺 裕昭 [(株)NTTファシリティーズ 取締役営業副本部長]

基調講演:「コビキタス社会の展望と課題」 13:20～14:10

慶應義塾大学 環境情報学部 教授 徳田 英幸 氏

講演:「世界の雷害対策の現状と課題」 14:10～15:00

雷害対策コンサルタント Stan Bonnesen 氏

休憩 15:00～15:15

パネルディスカッション:「我が国における雷害リスク低減方策の在り方」 15:15～16:55

コーディネーター:

雷害リスク低減コンソーシアム座長 妹尾堅一郎 [東京大学先端科学技術研究センター 特任教授]

パネリスト:

九州大学大学院総合理工学研究院 教授 (財)電力中央研究所研究参事 横山 茂 氏

筑波大学社会学系 教授 池田 三郎 氏

山形県鶴岡市 総務部企画調整課 課長代理 富樫 泰 氏

(株)NTTファシリティーズ 代表取締役副社長 武井 務 氏

音羽電機工業(株) 取締役社長 吉田 修 氏

閉会 16:55～17:00

雷害リスク低減コンソーシアム事務局長 江幡 正彦 [(財)地域開発研究所研究部 次長]

徳田 英幸 氏

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
委員長兼環境情報学部教授

1975年 慶應義塾大学工学部管理工学科卒業
 1977年 慶應義塾大学大学院工学研究科修士課程修了
 1978年 ウォータールー大学 Computer Communications Networks Group Research Assistant
 1983年 ウォータールー大学数学部計算機科学科博士課程修了(Ph.D. in Computer Science)
 1990年 慶應義塾大学環境情報学部助教授
 1991年 カーネギーメロン大学計算機科学科 Adjunct Associate Professor
 1996年 慶應義塾大学環境情報学部教授
 1997年 慶應義塾常任理事兼環境情報学部教授
 2001年より現職

Stan Bonnesen 氏

雷害対策コンサルタント

1956年 Bell Laboratories Technical Staff
 1969年 Philips Electrical Industries Division Chief Engineer
 1972年 General Instrument C. P. Clare Division Development Engineer
 1978年 Reliable Electric Company Manager, Telecom Protector Development Group
 1987年 ADC Telecommunications, Inc. Senior Principal Engineer, Protector Development
 1996年 Mondragon Telecommunications
 2000年より現職
 Standards activities: Chairman, IEC37AWG4, 5 years Development of IEC 61643-21, Surge Protective Devices for Telecommunications and Signalling Networks

妹尾 堅一郎 氏

東京大学先端科学技術研究センター
特任教授 (知識創造マネジメント)

慶應義塾大学経済学部卒業後、大手メーカーを経て英国国立ランカスター大学経営大学院 博士課程修了。
 1992年 産能大学助教授、
 1999年 慶應義塾大学助教授、同大学知的センター 副所長。
 慶應学術事業会代表取締役、丸の内シティキャンパス初代校長、同大学院政策・メディア研究科教授を経て03年より現職。専門分野は問題学・リスク論、情報社会論、社会人教育、産学連携・学術事業等。総務省地方行政ビジョン委員、警察庁政策評価研究委員、経産省MOT事業企画委員長、山形県政策審議委員長。雷害リスク低減コンソーシアム座長。著訳書:『雷害リスク』、『読む技術』、『問題解決という問題』(ダイヤモンド社)、他多数